

都内での感染性胃腸炎の流行警報

ノロウイルス等の感染性胃腸炎が警報基準を超えました

感染性胃腸炎の都内の患者報告数が、流行警報基準*を超えました。同時期の報告数としては、平成11年の調査開始以降、過去最高となっています。

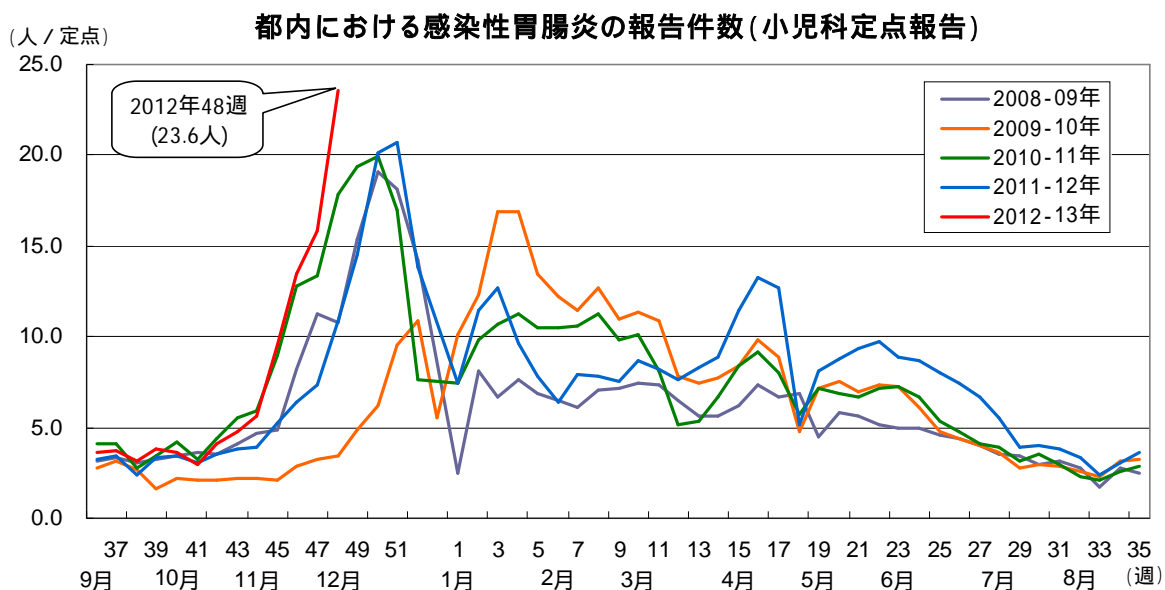
例年、この時期は感染性胃腸炎の発生が最も多くなる時期です。一人ひとりが手洗い等を徹底し、感染予防に努めましょう。高齢者や乳幼児の施設においては十分な感染防止対策をとりましょう。

* 流行警報基準：感染症発生動向調査による定点報告において、20人/定点(週)を超えた全ての保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた場合。

<発生状況>

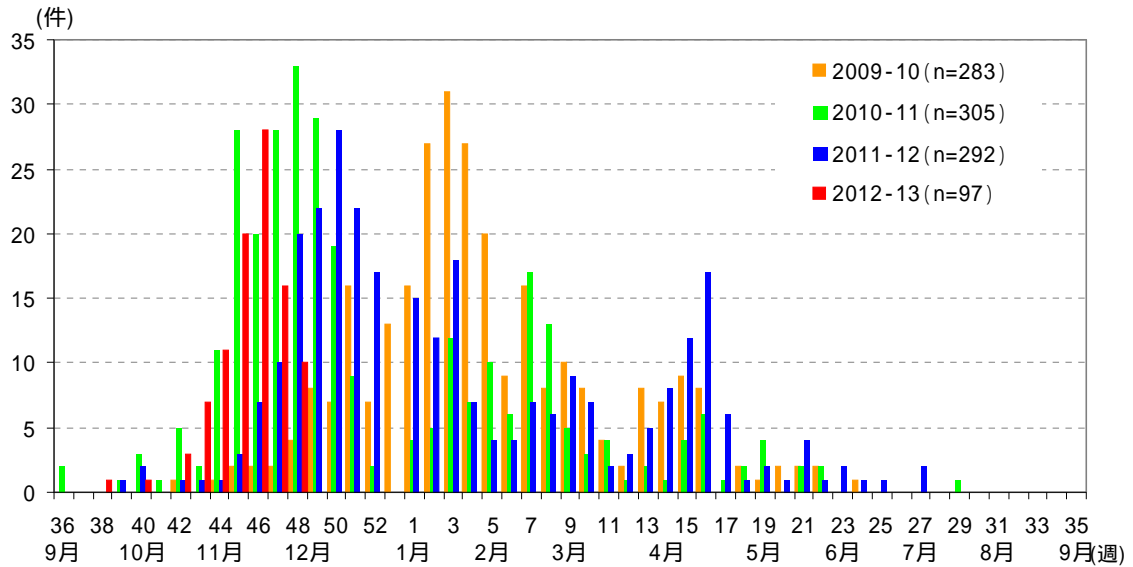
- ・ 都内262小児科定点医療機関からの報告による第48週(11月26日~12月2日)の患者報告数は23.6人/定点です。患者報告数が20.0人/定点を超えたのは、都内31保健所中20保健所で、管内人口の合計は、東京都全体の79.7%になります。
- ・ 今シーズン(本年9月3日以降)の都内の施設における集団発生は、12月5日までに97件把握されています。

** 集団発生：都内の保健所に報告があった事例のうち、同一施設で10人以上の患者が発生し、かつ病原体の検出が確認されている事例の集計。食中毒事例を除く。



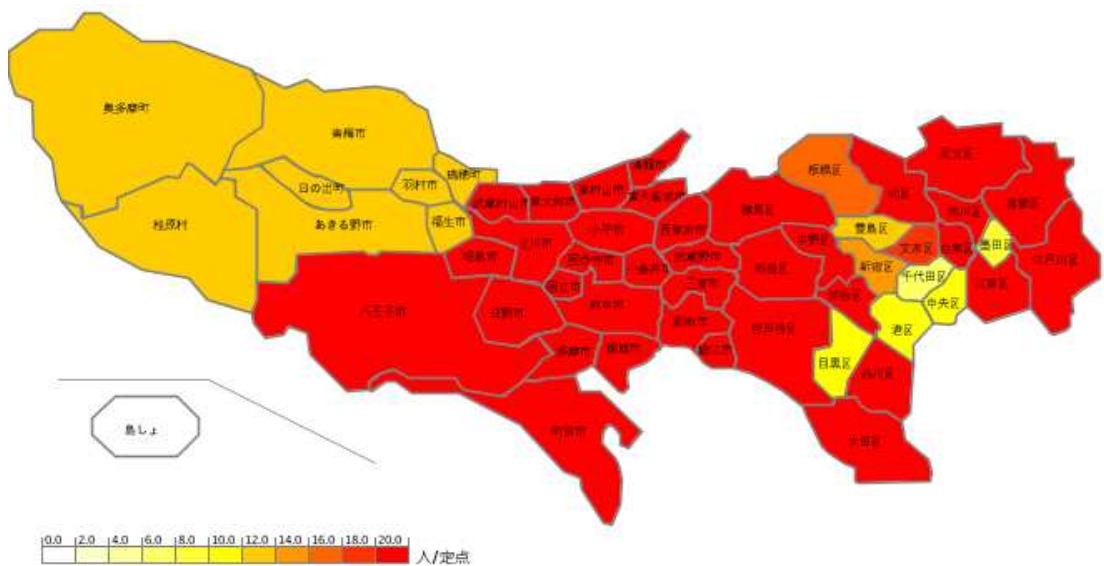
〔参考〕

都内における感染性胃腸炎の集団発生事例状況 2012年第48週まで



* 都内の保健所に報告があった感染性胃腸炎事例のうち、同一施設で10人以上の患者が発生し、かつ病原体の検出が確認された事例の件数。食中毒と判断された事例を除く。

都内における感染性胃腸炎の保健所別発生状況 2012年第48週



患者数の塗り分けは各保健所の管轄範囲を単位としている。

(例：小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市はすべて、管轄する多摩小平保健所の患者数に対応した色で塗り分けられている)

* データ出典：東京都感染症発生動向調査より <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>
 (感染性胃腸炎は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において、指定届出機関(定点医療機関)からの報告を要する五類感染症に指定されている。)

感染性胃腸炎について

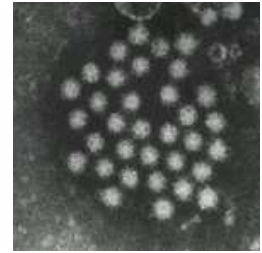
1 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。

原因となるウイルスには、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サポウイルス」、「アデノウイルス」などがあり、主な症状は、腹痛・下痢、嘔吐、発熱です。

「ロタウイルス」、「アデノウイルス」による胃腸炎は、乳幼児に多く見られます。

これらの胃腸炎は、症状のある期間が比較的短く、特別な治療方法がないことから、ウイルス検査を行わず、流行状況や症状から「感染性胃腸炎」と診断されることもあります。



写真：ノロウイルスの電子顕微鏡写真

2 原因と感染経路

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、人から人へ感染する場合と、汚染した食品を介しておこる食中毒に分けられ、次のような感染経路があります。

感染した人の便や吐物に触れた手指を介して、ノロウイルスが口に入った場合

便や吐物が乾燥して、細かな塵（ちり）とともに舞い上がり、それらと一緒にウイルスを鼻や口から取り込んだ場合

感染した人が十分に手を洗わず調理した食品を食べた場合

ノロウイルスを内臓に取り込んだカキやシジミなどの二枚貝を、生で又は不十分な加熱処理で食べた場合

3 感染性胃腸炎の治療

ウイルスを原因とする感染性胃腸炎の特別な治療法はなく、つらい症状を軽減するための処置（対症療法）が行われます。乳幼児や高齢者では下痢等による脱水症状を生じることがありますので、早めに医療機関を受診することが大切です。特に、高齢者は、誤えん（嘔吐物が気管に入る）による肺炎を起こすことがあるため、体調の変化に注意しましょう。

嘔吐の症状がおさまったら少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をとるよう心がけましょう。

予防のポイント

最も大切なのは手洗いをきちんと行うことです。特に排便後、調理や食事の前には、その都度、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

便や吐物を処理する時は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心温度 85 で 1 分以上の加熱が必要です）

< 感染性胃腸炎に関する東京都の主な対策・情報提供 >

東京都健康安全研究センターによる感染性胃腸炎に関する情報発信

「東京都感染症情報センター」のホームページにおいて感染性胃腸炎の発生状況や発生時の対策についての情報提供を行っています。

「ノロウイルス対策緊急タスクフォース最終報告」（平成22年）

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/gastro/noro_task/index.html

ノロウイルスの特徴、おう吐物を介した感染経路・消毒方法、手洗いの効果等に関する分析、感染防止のための具体的な対策等を掲載しています。

流行シーズン開始時及び警報基準到達時における都民への注意喚起

都内における流行状況が警報基準に達した場合には報道発表を行っています。

東京都のホームページにおける情報提供

ノロウイルス等による感染性胃腸炎への対策等の情報提供を行っています。

「社会福祉施設等における感染症予防チェックリスト」

「学校等における感染症予防チェックリスト」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/chetukurisuto.html>

（各施設・学校における感染防止対策の自己点検用に具体的項目を明示）

「社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/noro/manual.html>

（手洗い、おう吐・排泄物処理等の具体的方法、調理従事者への注意事項等）

保健所における地域住民・施設等への助言・指導等の実施

地域において施設等の実態を踏まえた助言や指導等を行っています。

参考 厚生労働省 ノロウイルス対策リーフレット（平成24年12月）

（冬は特にご注意ください！ノロウイルスによる食中毒／ノロウイルスの感染を広げないために）

http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/dl/link01-01_leaf01.pdf